

令和6年度補助金調書

No. 22-1

担当課	水道課	室・部・局	基盤整備部	予算事業コード	
-----	-----	-------	-------	---------	--

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	配水管布設等自費工事補助金	分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)			
②支出の根拠	関市配水管布設助成金交付要綱		(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)			
			○(3)個人に対する補助金			
			(4)その他			
③支出先	個人住宅において、水道を新たに使用するため配水管を自費で布設した居住者					
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対 象	市民				に対して
	手 段	配水管を自費で布設した費用の一部補助				を行うことで
	受益者	個人住宅において、水道を新たに使用するため配水管を自費で布設した居住者				が(を)
	意 図	配水管布設費用の負担を軽減される				という状態にする
⑥期間	R 6 年 4 月 1 日 ~ R 7 年 3 月 31 日 補助開始年度 平成 28 年度					
⑦事務局体制	主に市の担当課 主に支出先団体 ○ その他 (非該当)					
⑧構成員の負担	負担なし 負担あり 負担額 あたり 円					

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	補助率を定めている→補助率		
	276	627	1,259	2,500	単価を定めている→算式		
	定額補助		○	その他 (口径区分別に算式)			
	概算払			前金払			
②過去における 見直し状況	昨年度中に要綱の改正(申請手続きの簡素化・口径別単価、仕切弁数による加算等)を行い、今年度より施行。						
③支出先の決算 の状況	決算額(全体)	R6歳入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額	0千円
	決算額(事業)	R6歳入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額	0千円
	R6歳入に占める補助金の割合		%	全体の決算額を把握していない		○	非該当

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	している(対象住宅の登記簿謄本の写し等)	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	引き続き材料費、人件費の変動等に留意しつつ、必要に応じて要綱の改正を行う。			